

三角くじの企画

特徴 手軽なくじです。正方形の紙片を対角線で半分に折り、隅を糊やホッチキスで止めます。内側に書いてある番号やマークが外から見えないように表面が濃い色の紙を使います。大量のクジを少ない予算で行うのに適します。また後始末用として、紙が散らからないようごみ箱を用意します。



専用の抽籤箱

事前の準備

専用の三角くじではありますが、主催者によって当りやハズレの等級や数量がまちまちですので、事前にその調整が必要です。

専用の三角くじ用紙 (Aタイプ)

当り用くじ紙200枚



当りくじ紙は等級を書く。



安全のためハンコウを押す



当りくじは丁寧に糊づけする。図のようにずれてしまうとハズレとの区別がわかってしまう



Aタイプの外観
ハズレくじ紙1000枚

くじ紙の数量は全部で1200枚。そのうち1000枚はハズレくじで、すでに糊づけしてあります。残りの200枚は等級と数量を決めて糊づけする必要があります。

準備での注意点

- 1: 等級を示す文字や記号が外からわからないように筆圧や使用インクに気を付ける。
- 2: 不正防止用に主催者を証明するハンコウなどを等級の脇に押ししておく。
- 3: 丁寧に糊づけをしないと、糊の貼り方で、既製のハズレくじと区別が出来てしまい、目ざとい人には外からわかってしまう。
- 4: このトラブル対策として、中の見えにくい抽籤箱を利用します。

専用の三角くじ用紙 (Bタイプ)



Bタイプの外観
安全のためハンコウを押す

ハズレは白紙とする。

数量は1000枚ですが、すべて糊づけはしていません。

準備での注意点

- 1: 等級を示す文字や記号が表から分からないように筆圧や使用インクに気を付ける。
- 2: 不正防止用に主催者を証明するハンコウなどを等級の脇に押ししておく。
- 3: 作業能率のためにハズレくじには何も書かない(つまり、白紙のくじ紙がでたらそれはハズレですと前もって知らせておく)
- 4: 糊づけが面倒なら、先を折ったり、4つ折にしてホチキスでとめても大丈夫。
- 5: 安全のため抽籤箱を使えばさらに効果的です。

当りくじ紙は等級を書く。

糊づけが面倒ならホチキスでとめてもよい



案1



そのまま止める



4つ折りで止める



案3

先端を折って止める